

2014 年度 短時間正職員制度利用者実態調査

報告書



公益社団法人 長野県看護協会

2014年 短時間正職員制度利用者実態調査

(公社) 長野県看護協会 社会経済福祉委員会

〔目的〕短時間正職員制度の利用状況と利用者・職場の反応の実態を知り、より良い職場づくりに反映させる。

〔対象〕長野県内 129 病院の看護管理者

〔調査方法〕郵送による自記式質問紙による調査

〔調査期間〕平成 26 年 6 月 2 日～6 月 30 日

〔回収状況〕75 件回収うち有効回収数 74 件、回収率 58.9%

I. 回答した病院の概要

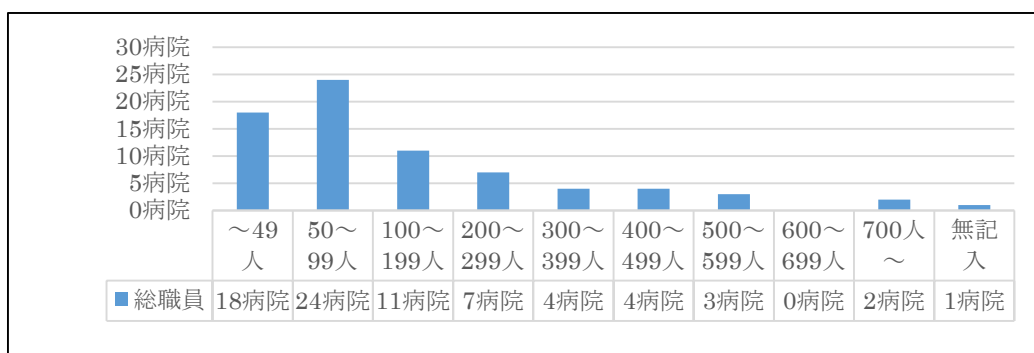
表 1 病床数別病院数

病床数	病院数
～100 床未満	25
100～200 床未満	21
200～300 床未満	10
300～400 床未満	8
400 床以上	10
計	74

- ・24 床～756 床までの 74 病院であり、その内訳は表 1 の通りであった。
- ・看護配置は、病棟毎に違っており HCU や NICU の 4 対 1 から介護療養型病床の 25 対 1 までさまざまであった。
- ・勤務形態は、2 交代制が一番多く 36 病院、次に 2 交代制・3 交代制の併用が 16 病院、3 交代制が 14 病院であった。

II. 回答した病院の看護職員の概要

図 2 病院の看護職員数

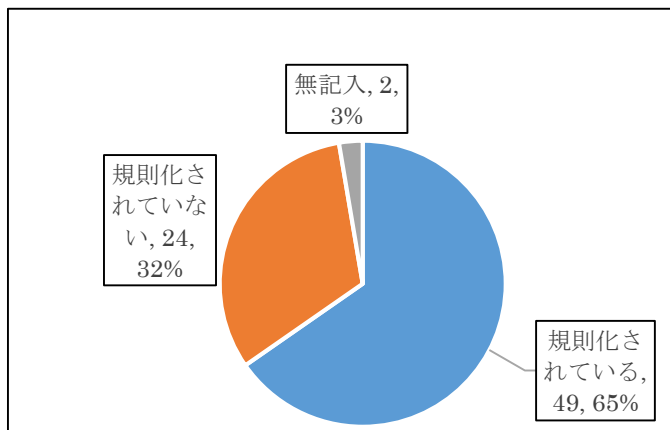


- ・75 病院の看護職員総数は、12,225 人であり、うち常勤看護職員 8,713 人、非常勤看護職員 1,843 人であった。
- ・病院の看護職員数の内訳は、図 2 の通りであった。
- ・看護職員の平均年齢は、40 歳代が一番多く 44 病院で 60% を占めた。次に 30 歳代の 26%、50 歳代の 4.5% であり、平均は 45 歳であった。

- ・未就学児を養育している看護職員は、1,480 人であった。
- ・現在産休中の看護職員は、514 人であった。

Ⅲ. 短時間正職員制度（以下この制度）の利用について

図Ⅲ 短時間正職員制度の規則化



- ・この制度を規則化している病院は 49 病院 65%であり、規則化していない病院は 24 病院 32%であった。
- ・これまでに回答病院では計 718 人がこの制度を利用し、現在の利用者は 293 人であった。

<規則化している 49 病院の回答>

1. 制度の導入年度

表 1 短時間正職員制度導入年度

導入年度（平成）	10	16	18	19	20	21	22	23	24	25	26	無記入
病院数	1	3	1	1	3	8	17	6	1	2	1	5

- ・導入年度は、平成 22 年度が 17 病院で一番多かった。
- ・平成 10 年、16 年に取り入れている病院もあった。

2. 制度利用の条件

制度を利用するに当たっての条件を表2に示した。

表2 制度利用の条件

項目	件数	内訳
対象となる児の年齢	11	1歳未満：1、2歳未満：2、3歳未満：3、未就学児まで：5
勤務時間・勤務日数など	6	1日6時間勤務：2、週の勤務時間20時間以上：2、週の勤務日数：3日以上：2
在職年数	5	1年以上：4、3年以上：1
勤務場所について	3	異動あり：3
その他	6	復帰すること、常勤に戻ること（夜勤も含む）、理事長への申請、他

- ・制度利用に条件がある病院は23病院47%であった。
- ・条件の内容としては、対象となる児の年齢を挙げているところが一番多く11件、勤務時間・勤務日数について挙げているところが6件、在職年数を挙げているところが5件、配置換えや異動など勤務場所の条件を挙げているところが3件であった。

3. 制度の利用方法

表3 制度の利用方法

複数回答可（件）

1日の労働時間を短くする	労働日数を少なくする	その他
40	11	5

- ・制度利用の方法については表3の通りであった。
- ・その他として、本人と面談をして選択できるようにしている。勤務を6パターン用意し選択してもらう。週の勤務時間を30～39時間としてフレキシブルに働いてもらう。などであった。

4. 制度利用期間の規定

表 4 短時間正職員制度利用期間

制度利用期間	件数
1年未満	1
1～2年未満	1
2～3年未満	10
3～4年未満	1
4～5年未満	1
5～6年未満	0
～就学前まで	14
無記入	21
計	49

- ・制度利用期間の規定は、表 4 の通り。
- ・制度利用期間に規定があるのは 32 件 65%、なしは 16 件 33%であった。
- ・就学前までが一番多く 14 件であった。次いで 2～3 年未満が 10 件であった。
- ・保育園入園と就学という区切りを期間に定めているところが多い。

5. 制度の平均取得期間

表 5 制度の平均取得期間

1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3年以上	無記入	計
18	25	2	1	3	49

- ・平均の取得期間は表 5 の通りであり、2 年未満で復帰している看護職員が多い。

6. 夜勤や役割の負担

- ・夜勤は、12 病院で 42 人の看護職が行っていた。また、その回数は 1～7 回/月で様々であった。
- ・委員会などの役割も、18 病院で担われていた。

7. 利用者の反応

表 7 利用者の反応

複数回答可 (件)

大変好評	気兼ねである	次も利用したい	他の人が利用するときは協力する	その他
24	12	27	21	3

- ・利用者の反応は、「大変好評・次も利用したい」が 51 件 59%であり、「他の人が利用するときには協力する」が 21 件 24%であった。
- ・「気兼ねである」という意見も 12 件 20%あった。

8. 職場の反応

表 8 職場の反応

複数回答可 (件)

好意的	協力的	負担が大きい	制度なので仕方ない	自分も利用したい	その他
10	31	20	21	11	8

- ・職場の反応は表 8 の通りであった。
- ・「協力的」が 31 件 31% で多かったが「負担が大きい」も 20 件 20% あった。

9. 制度を取り入れたことによるメリット

表 9 制度を取り入れたメリットの有無

ある	なし	無記入
37	5	7

- ・この制度のメリットを感じている管理者は 37 人 76% であった。
- メリットとしては以下の意見があった。
 - ・離職率の低下
 - ・退職者の減少
 - ・職員が定着した。
 - ・短時間の人は外来業務という概念が取り払われた。
 - ・優秀な人材の確保や、キャリアの継続が可能でありメリットが大きい。
 - ・家庭と子育ての両立ができ職員の安心感・満足感が離職防止となっている。
 - ・制度利用者が夜勤を担ってくれたため、入院基本料の算定要件を満たすことができた
 - ・病院に所属していることへの満足感。
 - ・ブランク期間が短いため早期の完全復帰に繋がっている。

10. 制度を取り入れて困ったこと

表10. 制度を取り入れて困ったこと

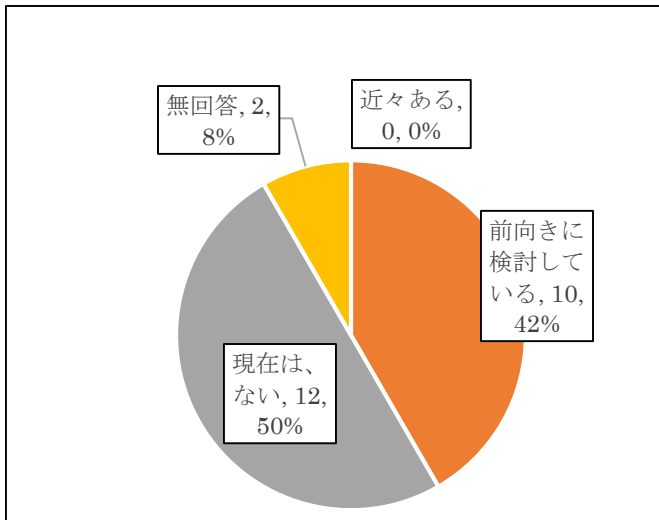
ある	なし	無記入
30	11	8

- ・困ったことのある管理者は 30 人 61% であった。
- 困った内容は以下であった。
 - ・常勤を担う者の負担が増え通常より常勤者を増やさなくてはいけない。
 - ・人件費が嵩んだ。
 - ・職場の忙しさを気にして予定より早く常勤に戻ったが両立できずに退職した例があった。
 - ・正職員になると土日祝日に休みにくいためパートになった人がいた。
 - ・働き方だけでなく休日も指定してくるので常勤者の休日取得に制限がかかり不平等。
 - ・業務内容の調整が必要、業務管理が大変

<規則化していない24病院の回答>

1. 今後制度を取り入れる予定

図1. 制度を取り入れる予定



・今後この制度を取り入れる予定は、前向きに検討している病院が10病院42%、ない病院が12病院50%であった。

取り入れない理由は以下であった。

- ・人件費がかさむ
- ・制度の利用期間が長いと重い負担が長く続く
- ・支える人の負担が大きい
- ・制度利用率が上がると常勤者の負担増となるため
- ・夜勤要員の確保が難しい
- ・シフト管理（勤務表作成）が大変

IV. 調査結果要旨

- ・短時間正職員制度を規定化している病院は 49 件 65%であった。
- ・利用方法については、「1 日の労働時間を短くする」が 40 件、「労働日数を少なくする」が 11 件であった。
- ・制度利用期間に「規定がある」病院は 32 件 65%、「規定はなし」が 16 件 33%であった。その内訳は「就学前まで」が 14 件で、「2～3 年未満」が 10 件であった。
- ・制度の平均取得期間は「1 年未満」18 件で、「1～2 年未満」が 25 件であった。
- ・夜勤は 12 病院で 42 人が行っていた。
- ・委員会などの役割を 18 病院で担っていた。
- ・利用者の反応は、「次も利用したい」が 27 件、「大変好評」が 24 件であった。
- ・職場の反応は、「協力的」が 31 件、「負担大きい」が 21 件であった。
- ・制度を取り入れたことによる「メリットがある」という回答は 37 件で、その内訳は「離職率の低下」「退職者の減少」等であった。
- ・制度を取り入れて「困ったことがある」という回答は 30 件で、その内訳は「常勤を担う者の負担が増えた」「人件費が嵩んだ」等であった。

<おわりに>

短時間正職員制度にはメリットもデメリットもあり、職場内には「お互い様」の風土が必要です。しかし働き続けられる職場作りのためには、無理のないようにこの制度をとり入れ辞めない職場作りをしていただきたいと思います。この調査内容をより良い職場づくりの参考にさせていただきたいと思います。

お忙しいところご協力いただいた県内病院の看護管理者の皆さまに深く感謝いたします。

短時間正職員制度利用者実態調査票

公益社団法人 長野県看護協会 社会経済福祉委員会

1. 貴施設の概要

病床数：_____床 病棟数：_____病棟

看護師配置数： 7対1 10対1 13対1 15対1 その他（_____）

勤務体制（該当があれば複数選択可）

3交代制 2交代制 変則2交代制 2交代・3交代の混合

2. 看護職員の概要

看護職員数_____名（正規看護職員数_____名 臨時・パート看護職員数_____名）

看護職員平均年齢_____歳 未就学児がいる看護職員数_____名

現在の産休・育休看護職員数_____名 平均育児休暇取得期間_____年_____ヶ月

3. 育児のための短時間正職員制度の利用

就業規則の中に短時間正規職員制度（育児介護就業規則）の利用に関する項目がありますか。

ある ない

★取り入れている施設の方にお伺いします。

制度の利用開始はいつからですか。 平成_____年から

現在、何名の看護師が利用していますか。 _____名

今までに何名の看護師が利用しましたか。 _____名

制度を利用する人とならない人の割合はどうですか。

利用する人の方が多し _____対 _____ 利用しない人の方が多し _____対 _____ ほぼ同じ

制度を利用するに当たっての条件はありますか。

ある どのようなこと。 _____ ない

制度の利用方法はどれですか。

1日の所定労働時間が短い 1週間の所定労働日数が少ない その他 _____

病院として、短時間正職員制度利用期間のきまりはありますか。

ある 期間_____年 _____ヶ月 ない

育児休暇の平均取得期間はどのくらいですか。

1年未満 1年以上2年未満 2年以上3年未満 3年

夜勤をやっていますか。 やっている 回数_____回/月程度 やっていない

現在、夜勤をやっている人は何人ですか。 _____人

委員会などの役割を担っていますか。 担っている 担っていない

利用者の反応はいかがですか。（複数回答可）

大変好評である 気兼ねである 次も利用したい 他の人が利用する時は協力する

その他自由記載

<裏もあります>

職場の反応はいかがですか。(複数回答可)

- 好意的 協力的 負担が大きい 制度なので仕方ない 自分も利用したい
その他自由記載

短時間正職員制度を取り入れたことのメリットはありますか。 ある ない

「ある」と答えた方は、どのようなことですか。

短時間正職員制度を取り入れていて困っていることがありますか。 ある ない

「ある」と答えた方はどのようなことですか。

★取り入れていない施設の方にお伺いします。

取り入れる予定はありますか。

- 近々取り入れる予定がある 前向きに検討している 今のところ取り入れる予定はない

「取り入れる予定がない」と答えた方は、どのような理由からですか。

ご協力ありがとうございました。

2014 年度
短時間正職員制度利用者実態調査 報告書

平成 27 年 3 月 1 日
公益社団法人長野県看護協会
社会経済福祉委員会

〒390-0802 松本市旭 2-11-34
TEL : 0263-35-0421 FAX : 0263-34-0311